

令和5年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市真田老人福祉センター					
指定管理者名	社会福祉法人 上田市社会福祉協議会	料金制導入区分	無料施設			
指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)					
施設所管課	福祉部	高齢者介護課				
設置目的	高齢者に関する各種の相談に応ずるとともに、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するため。					
指定管理者が行う業務内容	1 センターの利用許可に関する業務 2 センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 3 前2号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務のうち、市長のみの権限に属する業務を除く業務					
管理業務の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	清掃	館内の清掃	1日1回	毎日	職員により床・トイレ・風呂等を清掃	
	消防設備点検	防火管理者による点検	1日1回	毎日	職員により目視で確認	
		有資格者による法定点検	年1回	2/14	有資格者により点検を実施	
	浴槽水質検査	浴室内の浴槽水を検査	年2回	8/28、2/26	業者により検査を実施	
	自動ドア保守点検	正面玄関の自動ドアを点検	年4回	4/5、7/3 9/26、1/12	業者により点検を実施	
	浴槽循環ろ過洗浄保守	ろ過器と循環配管を洗浄	年1回	2/7	業者により洗浄を実施	
	窓、浴槽等洗浄	浴室内の浴槽ほかを洗浄	年6回	6/2、7/28、9/29、 11/24、2/2、3/29	業者により洗浄を実施	
	ボイラー保守点検	給湯ボイラー設備を点検	年1回	1/22	業者により点検を実施	
地下タンク及び配管検査保守	地下タンクと付属設備を検査	年1回	1/15	業者により検査を実施		
職員の配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	統括責任者			1人	1人	
	管理担当			1人	1人	
	受付担当			1人	1人	
	サポートスタッフ			2人	2人	
施設の利用状況	利用区分等	設定目標値	R5年度実績	達成率	R4年度実績	前年度比
	入浴等	人	4667人	#DIV/0!%	1707人	273.4%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	304日	延べ利用者数(R5)	4,667人	一日あたり利用者数	15人
	(施設所管課による評価) 利用者数が低迷しておりましたが、コロナ禍以前の利用者数の5割弱まで回復。今後も利用者数増員を図るため、利用促進策を図る必要がある。					
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	さわやかサロン			7/27、9/28、3/13	27人	
(施設所管課による評価) コロナ5類への移行後、定期的開催し、回を追うごとに参加者が増え、施設利用者の確保につながった。						

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	備考
指定管理者	収入	指定管理料	8,124,000	8,196,000	8,309,000	8,309,000	
		計	8,124,000	8,196,000	8,309,000	8,309,000	
	支出	非常勤職員給与	3,209,487	3,603,060	3,705,000	3,704,177	臨時職員1人、パート3人
		通勤手当	211,281	190,542	154,000	154,579	4人分
		法定福利費	378,112	479,393	514,000	514,568	
		福利厚生費		7,169	11,000	10,564	
		消耗品費	1,196,178	672,735	208,000	208,908	
		水道光熱費	823,921	836,844	1,187,000	1,186,800	
		車両費	163,724	286,389	208,000	208,164	マイクロバス車検、修理
		燃料費	511,527	522,306	1,001,000	1,000,996	灯油代
		修繕費	905,740	958,752	227,000	227,784	
		通信運搬費	87,033	86,570	44,000	43,018	電話料金
		業務委託費	607,767	523,010	1,021,000	1,021,112	ボイラー点検、浴槽洗浄ほか
		損害保険料	12,630	12,630	12,000	11,530	
		租税公課	16,600	16,600	17,000	16,800	
	計	8,124,000	8,196,000	8,309,000	8,309,000		
	差引		0	0	0	0	
	自主事業	収入					
計			0	0	0	0	
支出							
		計	0	0	0	0	
差引		0	0	0	0		
市	歳入						
		計	0	0	0	0	
		指定管理料	8,124,000	8,196,000	8,309,000	8,309,000	
	歳出	修繕費	2,596,000				温熱ボイラー修繕
		工事費	605,000				トイレ等自動水栓取付
		委託料		59,202			特定建築物点検業務
計	11,325,000	8,255,202	8,309,000	8,309,000			
差引		△ 11,325,000	△ 8,255,202	△ 8,309,000	△ 8,309,000		
総合計			△ 11,325,000	△ 8,255,202	△ 8,309,000	△ 8,309,000	

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。(※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。(※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○	
	条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○	
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。 管理費用の執行状況は適正か。	○ ○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。(※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

(1)環境整備について

施設周りの剪定や草刈、助走を実施するとともに、花壇の花植えを春・秋に行い、おもてなしの環境整備に努めました。

(2)自主事業について

職員の企画による「さわやかサロン」は、コロナ5類への移行後、定期的に行うことができ、利用者からも好評で回を追うごとに参加者が増えました。

(3)施設管理について

コロナ5類への移行も影響し利用者数がコロナ禍前の5割弱まで回復しましたが、これまで同様利用者の体調不良や転倒の防止のため施設内及び風呂場等の見回りを重点に実施し、緊急時の対応について徹底しました。

(4)職員研修について

防火、防犯、苦情解決対応等の研修を行い、接客サービス等に努めました。

②経費節減に対する取り組み

・灯油について、市指定の業者を参考に給油依頼し、経費の節減に努めました。

・館内温度をチェックしながら、来館者の状況に応じ、冷暖房の温度調整等を行うことにより経費節減に努めました。

・入浴利用者の状況を見ながらボイラー稼働時間を調節し、経費節減に努めました。

③その他

引き続き、利用者に自由に使用いただけるよう消毒設備と非接触型体温計を設置するなど、基本的な感染対策にも配慮しました。

(2)指定管理業務実施上の課題

清掃や小破修理など日常の施設管理には努めているものの、一昨年からの壁面からの雨水流入など深刻な事態も発生しており、建物自体の老朽化の進行が懸念されます。

(3)次年度以降の取り組み

利用者アンケートなどを踏まえながら自主事業の充実に取り組む等、魅力ある施設運営をすすめるとともにPRに努め、利用者の確保に向け取り組んでまいります。引き続き各所の修繕を行いつつ安心安全な利用環境を維持していきたいと考えています。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

今後もこの施設の継続を希望するといったご意見をいただいています。

②市からの改善指示に対する対応(※市から改善指示等があった場合のみ)